

令和3年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

香芝市教育委員会

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的として、令和3年5月27日に小学校第6学年と中学校第3学年の全児童生徒を対象に文部科学省によって実施されました。

本調査の結果は、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面を示しているものですが、香芝市では、この調査結果から子どもたちの学力や学習状況の具体的な現状を把握・分析し、今後の学校における教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てていくことが重要であると考えます。本市の調査結果について、以下のとおりまとめました。

1. 調査の概要

(1) 調査実施日 令和3年5月27日(木)

(2) 調査対象 市内 10小学校 第6学年 (受検者数 831名)

市内 4中学校 第3学年 (受検者数 773名)

(3) 調査内容 ①教科に関する調査(国語科、算数科・数学科)

②質問紙調査(児童生徒に対する調査・学校に対する調査)

※調査問題や質問紙の詳細については、国立教育政策研究所のHPをご覧ください。

2. 教科に関する調査結果の概要 (上段:平均正答数/設問数 下段:平均正答率)

※平成29年度から、国から提供される各都道府県別、各市町村別の平均正答率が整数値となったため、奈良県と香芝市の平均正答率は整数値で示しています。

(1) 国語科

小学校			中学校		
香芝市	奈良県	全国	香芝市	奈良県	全国
8.8/14	8.6/14	9.1/14	8.9/14	8.7/14	9.0/14
63%	61%	64.7%	64%	62%	64.6%

*国語科において、小学校、中学校ともに県平均は上回っている。

(2) 算数・数学科

小学校			中学校		
香芝市	奈良県	全国	香芝市	奈良県	全国
11.5/16	11.1/16	11.2/16	9.1/16	8.7/16	9.1/16
72%	69%	70.2%	57%	54%	57.2%

*算数・数学科において、小学校、中学校ともに県平均は上回っている。小学校については、全国平均も上回っている。

【国語科における状況】

- ・漢字や言葉の使い方など、基礎基本が定着していない。「話すこと・聞くこと」は概ねできているが、「読むこと」に関して、目的に応じ文章と図表を結び付けて必要な情報を見付けることや目的を意識して中心となる語や文を見付けて要約することについて課題がある。
- ・解答する上で、必要な条件を満たしていないことで不正解になっている解答が多い。
- ・記述式の設問について、全国平均に比べて正答率が低い。

【算数・数学科における状況】

- ・領域別で見ると、小学校、中学校ともに「図形」に課題が見られるという共通点が見られた。面積は導き出せているものの、面積の求め方を正しく記述できていない。
- ・小学校では、「データの活用」は概ねできており、グラフから数量を読み取ったり、項目間の関係を読み取ったりすることは、多くの児童ができている。中学校では、「資料の活用」の正答率が低く、ヒストグラムから度数を読み取るなど、基礎的な知識・理解に課題がある。
- ・記述式の設問において、正答率が低い上に、無解答率も高くなる。小学校、中学校ともに、答えを導き出した過程を条件に合わせて論理的に筋道立てて説明する力に課題がある。

3. 質問紙調査結果の概要

小学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	50.5%	56.0%	58.4%
算数の勉強は好きか	63.1%	63.7%	67.8%
家で計画を立てて勉強しているか	73.2%	71.1%	74.0%
自分にはよいところがあると思うか	74.6%	74.4%	76.9%
人が困っているときは、進んで助けているか	89.5%	87.9%	88.7%

中学校

質問項目(肯定的回答をした割合)	香芝市	奈良県	全国
国語の勉強は好きか	57.5%	57.5%	60.8%
数学の勉強は好きか	54.4%	53.5%	59.1%
家で計画を立てて勉強しているか	59.0%	59.6%	63.5%
自分にはよいところがあると思うか	71.6%	71.6%	76.2%
人が困っているときは、進んで助けているか	87.6%	86.3%	88.5%

【小学校第6学年、中学校第3学年の状況】

- ・「国語の勉強は好きか」「算数の勉強は好きか」という質問に「はい・どちらかといえばはい」と肯定的に回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。
- ・「家で計画を立てて勉強しているか」という質問に「よくしている・ときどきしている」と肯定的に回答した割合は、小学校では奈良県を上回っているが、中学校では奈良県、全国を下回っている。
- ・「自分にはよいところがあると思うか」という質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、小学校、中学校ともに全国を下回っている。
- ・「人が困っているときは、進んで助けているか」の質問に「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に回答した割合は、小学校では奈良県と全国を上回っており、中学校では奈良県を上回っている。

調査対象の学年だけではなく、全学年の学力向上を目指して、各学校では自校の課題を分析し、学力向上に関する研修を行い、学校を挙げて取組を進めているところです。

教育委員会としましても、本調査結果や分析を踏まえ、各校の取組や改善計画に対し、状況に応じて必要な指導・助言を行うとともに、授業改善を進め、教職員の授業力向上に努めて参ります。